

被保険者
の皆様へ
被扶養者

— まずは家庭へお持ち帰りください —

2026年度
きんでん健康保険組合

必ず毎年受けましょう!




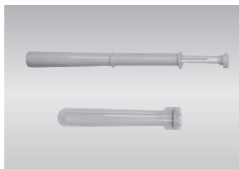
2025年度利用者
‘3,343名!’
自宅で採取し送るだけ!

がん自己検診のお知らせ

当健康保険組合では、本年も皆様方の健康管理のお手伝いとして、ご家庭でご自分のご都合に合わせてできる自己採取式のがん検診(肺・大腸・子宮・前立腺)を以下の要領で実施いたします。

“がん”は早期発見がポイントです。自分の健康を自分で守るためにも、是非この機会にご受診ください。

無 料

<p>30歳以上</p> <p>肺がん検診 (喀痰細胞診)</p> <p>・3日分のたんをとります。</p> 	<p>30歳以上</p> <p>大腸がん検診 (便潜血検査)</p> <p>・今注目のトランスフェリンを同時測定 ・便を採りやすい採便シート付き</p> 	<p>20歳以上女性</p> <p>子宮頸がん検診 (細胞診)</p> <p>・乳がん自己触診チェッカー付き</p>  <p>(注) 妊娠中の方は申込みできません。</p>	<p>50歳以上男性</p> <p>前立腺がん検診 (血液検査*)</p> <p>・血液中のPSA濃度を調べます。</p>  <p>*下の注意事項をお読みください。</p>
---	---	--	---

有 料

自己負担5,730円
細胞診分は
全額健保負担

HPV検査セット

20歳以上女性

・1回の採取でHPV検査と
子宮頸がん検査(細胞診)ができます。



(注) 妊娠中の方は申込みできません。

*前立腺がん検診の注意事項
・血液を、専用の器具を使って指先から採取します。
・特定の疾患の治療中で、薬剤(ヘパリン・ワーファリン・ウロキナーゼ等)を服用し止血機能が低下している方は検査の申込みができません。

受診する方の個人情報(本検査を提供する目的および当健康保険組合の疾病予防事業)にのみ利用します。また受診する方の個人情報を事前の承諾を得ず第三者に提供・開示することはありません。有所見の方は必ず精密検査を受診し、送付されるアンケートにてその後の経過をご報告ください。

- 検診対象者** 30歳以上(子宮頸がん検診は20歳以上女性、前立腺がん検診は50歳以上男性)の被保険者及び被扶養者(当健康保険組合の加入者)
- 検診費用** 全額健康保険組合が負担します。(肺・大腸・子宮・前立腺の4項目)
※ただし、HPV検査セットは、自己負担金5,730円が必要です。お申込み後、検査機関より振込用紙が送付されますので、各自入金してください。入金確認後、器具が送付されます。
※採取後の器具の返送切手代(肺がん:290円、大腸がん:110円、子宮頸がん・前立腺がん・HPV検査セット:140円)はご負担ください。
- 申込方法** 右下申込書に記入のうえ、被保険者の勤務先の担当課(総務課など)へ提出してください。(任意継続・特例退職者の方は健康保険組合へ送付してください。)
- 申込締切日** 2026年9月4日(金)までできるだけ早めにお申込みください。
- 器具の送付** 申込書到着後、約2週間で個人宛に検査機関より郵送されます。
- 採取器具の返送締切日** 2026年11月6日(金)までに問診票と採取後の器具を同封の封筒に入れて、できるだけ早く返送してください。
- 検診結果** 検査の結果は、検体到着後約3週間で個人宛に検査機関より郵送されます。
- 検査機関** 〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550 メスブビル内
メスブ細胞検査研究所 TEL (075) 231-2230

肺がん検診 がんの死亡原因では第1位!

- ・胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
- ・喀痰細胞診は中心型早期肺がんのスクリーニング法です。

喀痰検査とは:

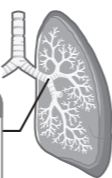
痰の中に肺がんを疑う細胞がないかを調べる検査です。肺がんだけでなく、アレルギー・喘息などの肺の慢性的な炎症も発見できます。

◆喫煙者、喫煙経験者は胸部レントゲンの併用をおすすめします。

喫煙者は特に注意!
たばこをやめた人も!

肺門部・中心型肺がん

喫煙者に多い…せき、たん、血痰などの症状
※喀痰検査で発見!
肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい



大腸がん検診

重要!

2日分の便を採取して送るだけ!
他で受ける予定のない方はお申込みください!



毎年検診を受けて!

◆大腸がんは増え続けています!

▶最新の予測

がん罹患数 第1位

がんでの死亡原因 女性 第1位

男性 第2位

出典:国立がん研究センターがん情報サービス最新のがん統計予測

◆早期発見・早期治療により、ほぼ100%治ります。

年に一度検診することで早期発見につながります。昨年陰性だった方も受診しましょう!

◆この検診で大腸がん・大腸ポリープが多く見つかっています。

2025年度
きんでん健保受診結果

受診者
2,880名

便潜血検査陽性者
183名(陽性率6.4%)

前立腺がん検診

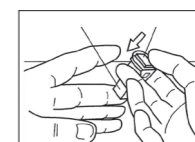
急増しています! 50歳をすぎたら、年に1度は受けましょう!

血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。数値が高い場合は、「前立腺がん」「前立腺肥大症」「前立腺炎」などのリスクがあります。

◆前立腺がんはサイレントキラー!!自覚症状がありません。

がんの初期には排尿障害(尿の勢いが弱い、尿の回数が増えた、残尿感があるなど)の症状はほとんど出ません。

- ※①前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方②特定薬物(抗男性ホルモン剤など)使用中の方
- ③長年寝たきりになっている方は正確な検査結果が出ないことがあります。



採血の仕方



QRから動画を
確認できます。

子宮頸がん検診

検診を定期的に受ければ予防できます。乳がん自己触診チェッカー同封します。

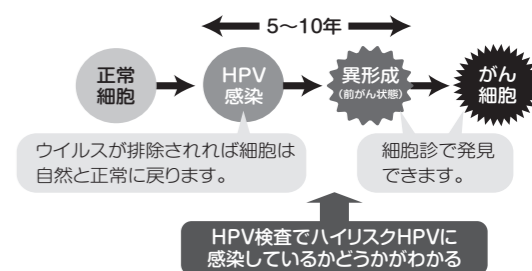
◆自治体や医療機関での検診を受けにくい方に、自宅で都合のいい時間にできる検査です。

子宮頸がんになるまでに通常数年から10年以上かかります。定期的な子宮頸がん検診を受けていれば、がんになる前の段階で発見し治療することが可能です。

HPV検査セット

女性にもっと安心を!

がんや前がん病変の段階の細胞がないかを調べる細胞診と、14種類のハイリスク型HPVへの感染を調べるHPV検査を同時に受けられます。2つの検査を併用することで、前がん病変の発見率が飛躍的に向上します。(自己負担金はHPV検査分で、細胞診は健保が全額負担しています。)



きんでん健康保険組合 御中 がん自己検診申込書

申込締切日 2026年9月4日(金)

被保険者	記号番号	—	氏名	2026年 月 日
	所属	(会社名)	(室・部・支店(社))	

検診を受ける人	氏名	住所	電話番号	生年月日・年齢・性別	続柄	希望される検査に ○印してください。
	フリガナ	〒	番()	—	西暦 年 月 日 ()歳 男・女	本人・家族
フリガナ	〒	番()	—	西暦 年 月 日 ()歳 男・女	本人・家族	肺・大腸 前立腺・子宮 HPVセット(自己負担あり)
フリガナ	〒	番()	—	西暦 年 月 日 ()歳 男・女	本人・家族	肺・大腸 前立腺・子宮 HPVセット(自己負担あり)

- (注) 1. 被保険者記号・番号は「マイナポータル」「資格情報のお知らせ」「資格確認書」などをご確認ください。
2. 本人・家族共一人で3つのがん検診を受けられます。
3. 受診できるのは、30歳以上(子宮頸がんは20歳以上女性、前立腺がんは50歳以上男性)の被保険者及び被扶養者(当健康保険組合の加入者)

お申込みをされた方は必ず受診(検体郵送)してください。
また、申込後、受診できない理由が発生した場合は、必ず検査機関に連絡をしてください。
なお、申込みをされて器具を受け取りながら、検診を受けなかった場合は、器具代を個人負担していただきます。
<肺:1,683円、大腸:1,001円、子宮:1,452円(50歳以上は1,672円)、前立腺:1,067円、HPV検査セット:1,672円>

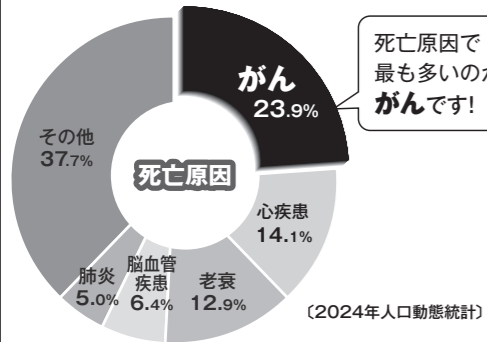
毎年必ず受けましょう!がん検診!

がんは予防できる時代です。

誰でもがんになる可能性があります

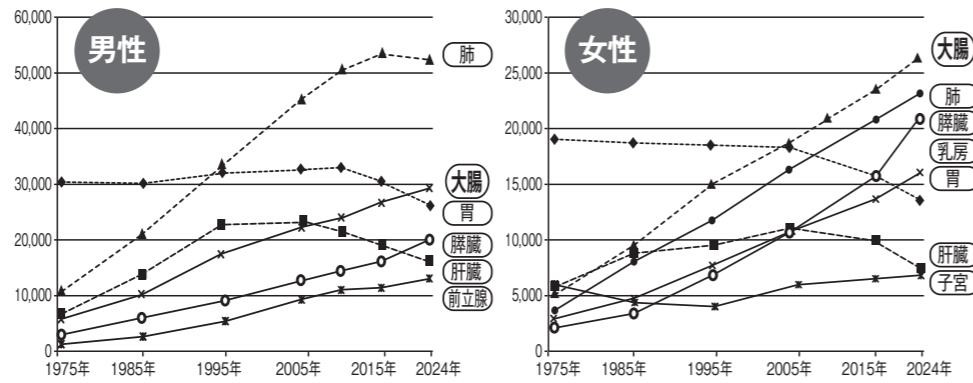
一生の間に2人に1人ががんになる時代ですが、
早期発見で適切な治療をすれば、健康な日々を過ごすことができます。

【主な疾病の死亡原因に占める割合】



死亡原因で最も多いのががんです!

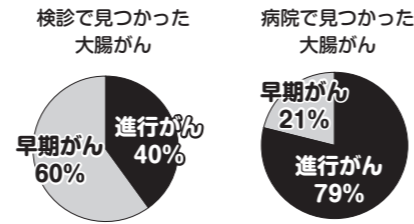
【主ながん部位別死亡者推移】



自覚症状がなくても、まず検診

早期のがんに自覚症状はありません!
がんを早期に見つけ、治療するためには、自覚症状がない時にこそ定期的に検診を受けることが大切です。

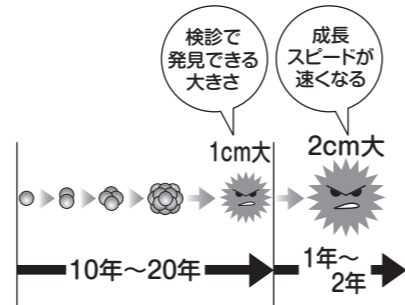
自覚症状を感じて病院で発見されたがんは79%が進行がんです。



資料:厚生労働省「大腸がん集団検診の組織化に関する研究」

毎年検診を受けることが重要

がんの大きさが1~2cmくらいまでを「早期がん」といい、この段階で治療を受ければ完治も可能です。
検診で発見できるこの1~2cmの大きさになるには、10~20年かかりますが、1cmのがんが2cmの大きさになるのにはたった1~2年しかかかりません。だから、毎年がん検診を受けることが重要なのです。



結果が陽性の時は、速やかに精密検査を受けましょう

検診は「自覚症状のない人」から「がんかもしれない人」を見つけるスクリーニング検査です。がん以外の何らかの疾患が隠れていることもあります。自覚症状がないから大丈夫!と思わず、すぐに精密検査を受けましょう。

毎年必ず大腸がん検診を受けましょう!

大腸がんは

かかる人
年間154,585人
第1位

亡くなる人
年間54,416人
第2位

国立がん研究センター
がん情報サービス「がん統計」
罹患:2021年 死亡:2024年

毎年検診を受ける人は、大腸がんによる死亡率が約70%低下すると厚生労働省が発表しています。

「腸の炎症」は様々な病気につながります! ~腸の炎症は飛び火します~



腸は栄養素を吸収する役割の他に、自律神経や免疫細胞が集まり細菌やウイルスなどの有害なものを排除するバリア機能が備わっています。このバリア機能が壊れた状態が続くと、病原菌や異物が血管内に漏れ出します。

腸の炎症が慢性化すると、消化管の炎症性疾患にとどまらず、肥満や糖尿病、心疾患、がん、神経・精神疾患など様々な病気を発症させます。

腸には免疫の約7割が集中しています。日頃から腸内環境を整えるために、腸内の善玉菌のエサとなる発酵性食物繊維やオリゴ糖等を積極的に摂取し、腸から免疫カアップに取り組みましょう。

大腸がん検診 受診者の声より

60代男性
今回初めて陽性の結果で早期のがんが見つかりました。自覚症状もなく、まさか私か、と思いましたが、早期発見ができて感謝しています。検査の大切さを家族や周りの人に伝えたいです。

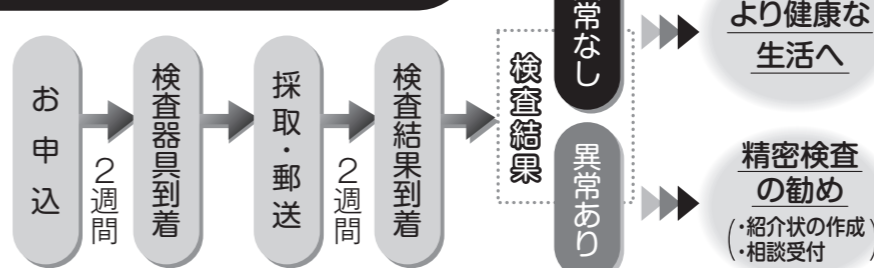
50代女性
出血は「痔」のせいだと思い放置していましたが、再度の受診勧奨で受診。ポリープが見つかり、このままにしていたら「がん」になっていたかも、と言われました。検査がこわい、私もそう思っていました。受診してよかったです。

40代女性
検査が不安でなかなかふみきれませんでした。子供も生まれたところだったので思いきって受診。その結果、小さなポリープが見つかり切除しました。今は安心して生活しています。

30代男性
内視鏡で、今回は異常なしでしたが、健康に関心を持つ良いきっかけになりました。年に一度の便潜血検査は必ず受けようと思います。

【注意事項】
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

郵送検診のシステム



京都府医師会 臨床検査制度管理調査
京都府臨床検査技師会 協力施設
日本臨床衛生検査技師会

メスス細胞検査研究所

京都府登録衛生検査所第38号
〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下
瓦町550 メスビル内
TEL.075(231)2230
FAX.075(211)7400
https://www.msp-kyoto.co.jp
E-mail:mail@msp-kyoto.co.jp